

名前( )

1. 季節と生物 [1] [2] 春の始まり～春No 1のプリントの3で予想した、「生物のようすは、季節によってどのように変わっていくか」は、教科書P 6, 7やP 16～23を見たり学校や家の周りなどの植物や動物のようすを見たりしたときに、あたたかくなると、植物が大きくなったり動物が活動するようになったりすることが分かることから、生物のようすと気温のかんけいについて1年間を通して調べる必要があります。教科書P 24を見ながら、下の文をあなうめしてかくにんしましょう。

気温と校庭にある植物やいる動物のようすのかんけいについて1年間観察していく方法で調べると、

気温は、春の始まりよりも( )、動物はたまごからかえったり、活動し始めたりする。春の始まりよりも、見られる( )や( )がふえている。

植物は、( )成長し始める。( )がさいたり、新しい( )が出たりすることが分かる。

しばらくの間、気温と育てていく植物のようすのかんけいについて、1年間観察していく方法で調べましょう。

## ツルレイシ (ゴーヤ) とヘチマの種を植えて、育てて観察しよう!

### たねのまきかた

教科書 P25 にもっています。

- ①牛乳パックの上の部分を切りとりはちをつくる。
- ②はちに土を入れて水でしめらせる。
- \*かためすぎないようにしよう。
- ③はちの真ん中に深さ 3cm[人さし指の第一関節]くらいのあなを作る。
- ④あなの中にたねを入れて土をかぶせる。
- ⑤あたたかいところにおいて、土がかわかないように水やりをする。

**ポイント** 水をやりすぎるとたねがくさることがあるのでやりすぎないようにしよう。

### たねをまくまえに...

たねは、ひとばん水にひたしたり、傷をつけて水を吸いやすくしたものを使うと発芽しやすくなる。

\*深く傷をつけてしまうと発芽しないこともあるので気をつけよう。



ツルレイシのたねは、つめ切りなどで点線のように切る。中にある緑の部分はきらない